

**製品名: 14-3-3 η ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06284**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	YWHAH
別名	YWHAH; YWHA1; 14-3-3 protein eta; Protein AS1
遺伝子 ID	7533.0
SwissProt ID	Q04917
免疫原	抗血清はヒト 14-3-3η 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 51-100

**背景**

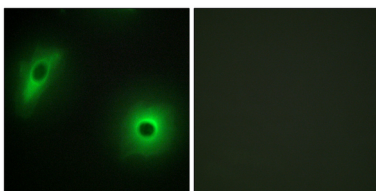
この遺伝子産物は、ホスホセリン含有タンパク質に結合してシグナル伝達を媒介する 14-3-3 タンパク質ファミリーに属する。この高度に保存されたタンパク質ファミリーは植物と哺乳類の両方に存在し、このタンパク質はマウス、ラット、ウシの相同遺伝子と 99%

同一である。この遺伝子は 5' UTR に 7 bp の反復配列を有し、この反復配列数の変化は、早期発症型統合失調症および精神病的双極性障害と関連付けられている。[RefSeq 提供、2009 年 6 月]、機能： 広範囲のシグナル伝達経路および特殊化したシグナル伝達経路の制御に関与するアダプタータンパク質。通常、ホスホセリンまたはホスホトレオニンモチーフを認識することで、多数のパートナーと結合する。結合は一般に、結合パートナーの活性の調節をもたらす。類似性： 14-3-3 ファミリーに属する。サブユニット： ホモ二量体（類似性による）。 AR、ESR1、ESR2、MC2R、NR3C1、NRIP1、PPARBP、THRA など、多くの核内ホルモン受容体および補因子と相互作用する。ABL1（リン酸化型）と相互作用し、この相互作用により ABL1 は細胞質内に留まる。RGNEF および PCK1 と相互作用する（相同性による）。CDKN1B とは弱い相互作用を示す。組織特異性： 主に脳で発現し、他の組織にも低レベルで存在する。

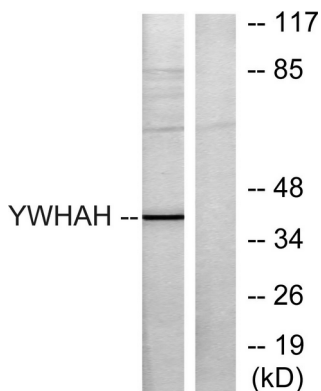
## 研究分野

Cell\_Cycle\_G1S;Cell\_Cycle\_G2M\_DNA;卵母細胞減数分裂;神経栄養因子;

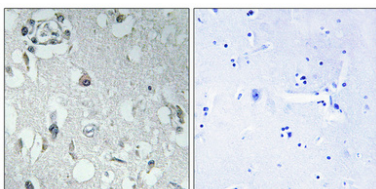
## 画像データ



14-3-3η 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



14-3-3 eta 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。